



The Ritz-Carlton Residences, Waikiki Beach



ザ・リッツ・カールトン・レジデンス、ワイキキビーチ「The Ritz-Carlton Residences, Waikiki Beach」は、2016年7月にオアフ島で初のリッツ・カールトンとして開業した。先行して稼働した307室の「エヴァタワー」に加えて、2018年10月には245室の「ダイヤモンドヘッドタワー」が新たに開業しグランドオープンを迎えた

“ワイキキでもっとも高層のプール”という触れ込みのインフィニティプール。大人専用の「Adult Pool」と家族向けの「Family Pool」の二つを用意し、どちらでもワイキキの海辺を見ながら泳げる



「The Ritz-Carlton Residences, Waikiki Beach」の正面エントランス。“Residences”の名の通り、ここはホテルではなく“高級分譲コンドミニウム”である



エントランスホール車寄せ脇に用意されたゲスト用のソファセット



いかにもハワイらしい解放感あふれる印象的なレセプションホール



「The Ritz-Carlton Residences, Waikiki Beach」のGM、Mr. Douglas Chang氏と筆者



筆者 **小原 康裕**
国際ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974年 Munich Re 入社。
2001年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会専務理事。
SKAL International Tokyo、
Professionnels du Tourisme 会員。
JARC、日本宿泊施設関連連合会
アドバイザーボードメンバー。
www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoteresonline.com
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>



エレベーターは斬新で、エレベーターホールにあるタッチパネルにルームキーを触れて階数を入力する方式。ゆえにエレベーター内部には階数ボタンがない

The Ritz-Carlton Residences, Waikiki Beach

ザ・リッツ・カールトン・レジデンス、ワイキキビーチ「The Ritz-Carlton Residences, Waikiki Beach」(以下、RC/W)は、2016年7月にオアフ島で初のリッツ・カールトンとして開業した。全室が南向きのオーシャンビューで、先行して稼働した307室の「エヴァタワー」に加えて、2018年10月には245室の「ダイヤモンドヘッドタワー」が新たに開業しグランドオープンを迎えた。「レジデンス」という名が示すように、ここはホテルではなく“高級分譲コンドミニウム”である。リッツ・カール

トンは分譲所有者から一部を借り受けてオペレーション母体となり、ホテルサービスを提供している。
RC/Wはワイキキで最新のプロパティであり、10年前にオープンした話題のレジデンス「Trump Tower Waikiki」に比べて格段のラグジュアリー感が漂う。客室の各バルコニーからワイキキビーチやダイヤモンドヘッドを見渡せる構造にするため、ダイヤモンドヘッドタワーはひねりと段差が入り組んだ独特の形状を採用して異彩を放つ。波打つようなスタイリッシュな外観の二つのタワーは、離れた場所からでも存在感を認識できる。
RC/Wはコンドミニウムという事でセキュリティは万全である。



オールデイダイニング「The Market」の朝食は和定食も用意。
(現在はモダンフレンチ料理の「La Vie」として営業)



レセプションホールから直ぐに入りやすいバーラウンジ「The Lounge」



寿司職人の中澤圭二氏が手掛ける江戸前寿司の最高峰「すし匠」
(筆者滞在中、定休日であったため、ホテルHPから掲載)



ダイヤモンドヘッドタワー側にあるイタリアン「Quiora」のテラス席



スパ施設「The Ritz-Carlton Spa」のレセプションスタッフ



スパ施設内のゆったりとしたリラクゼーションルーム

エレベーターは近未来的で、エレベーターホールにあるタッチパネルにルームキーを触れて階数を入力する方式だ。したがってエレベータ内部には階数ボタンがないので、宿泊客以外は客室フロアへ立ち入ることはできない。今回はダイヤモンドヘッドタワーにある「Deluxe Ocean View Corner Suite」をご紹介したい。約60㎡の広さを持つコーナースイートで、テラスからワイキキの街並み越しに太平洋とダイヤモンドヘッドの絶景を望める。レストランはレセプションホールから順にバーラウンジ「The Lounge」、フレンチの「La Vie」、そして著名寿司職人の中澤圭二氏が手掛ける江戸前寿司の最高峰「すし匠」が並んでいる。そ

他、ダイヤモンドヘッドタワー側にイタリアンの「Quiora」、1階エントランス横には日本でおなじみの「Dean & DeLuca」のハワイ1号店といった話題を提供している。スパ施設「The Ritz-Carlton Spa」も充実しており、「ワイキキでもっとも高層のプール」というインフィニティプールで海辺を見ながら泳げる。

RC/Wはレジデンスであるため、客室にはキッチンや大型冷蔵庫、オープンレンジ、食器、グラス類など長期滞在を意識した設備がすべて整っておりすこぶる快適である。すぐ隣にはハイブランドが軒を連ねるショッピングセンター「ラグジュアリーロウ」があり、ハレクラニなどワイキキ海岸沿いのホテルとは一味違う滞在を楽しめよう。

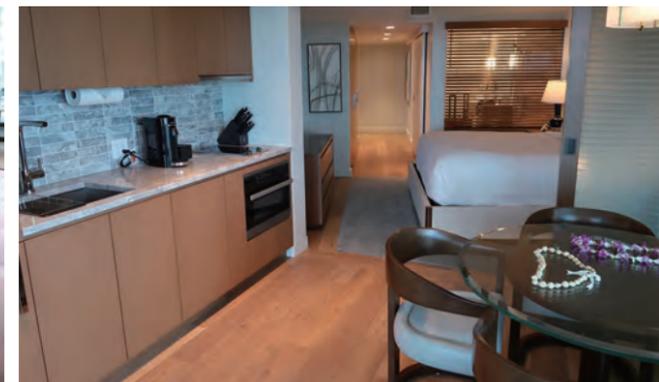
The Ritz-Carlton Residences, Waikiki Beach



ダイヤモンドヘッドタワーにある「Deluxe Ocean View Corner Suite」のリビングルーム。約60㎡の広さを持つコーナースイートで、テラスからワイキキの街並み越しに太平洋とダイヤモンドヘッドの絶景を望める



ベッドルームからリビングルーム方向。引き戸でリビングと区分され、寝室の静寂感が保たれる



客室にはキッチンや大型冷蔵庫、オープンレンジ、食器、グラス類など長期滞在を意識した設備がすべて整っておりすこぶる快適である



コーナースイートのバルコニーなので、ワイキキビーチからダイヤモンドヘッドまで市街地を見渡せる



日本式のバスタブとシャワー洗い場が一体となったバスルーム。バスアメニティーは英国の「Asprey」を採用している